

平成 31 年度（2019 年度）県立太田西山高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である ☐ B おおむね妥当である ☐ C あまり妥当でない ☐ D 妥当でない	・新設校としてのスタートに当たり、職員の共通理解・共通実践がすばらしいと思います。 ・早期に太田西山高校のよいイメージを創り上げてほしい。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である ☐ B おおむね妥当である ☐ C あまり妥当でない ☐ D 妥当でない	・十分達成と達成を真摯に評価していると思います。 ・継続と見直しを分析し、よりよい実践につなげてほしい。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	☒ A 十分把握している ☐ B おおむね把握している ☐ C あまり把握していない ☐ D 把握していない	・多様な課題に対して、学校の現状を踏まえながら、優先順位をつけるとよいと思います。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	☒ A 適切である ☐ B おおむね適切である ☐ C あまり適切でない ☐ D 適切でない	・改善方策については、より具体的に示すことが大切であると思います。具体的（いつまでに、誰が、何を...）に手立てを示すことで、着手が容易になる。
5. その他		・常陸太田市内の高校として、地元の生徒が安心して通える高校となることを願っています。 ・中学生や保護者から見て魅力のある学校になって欲しいと願っています。そのためには、学習や部活動、学校行事における生徒の活躍も大切な要因になると思います。多くの生徒が集まることを期待しています。 ・校長先生をはじめ、先生方の学校と生徒への熱いと意欲を感じました。めまぐるしく変化する次代の中、対応される先生方の労力をお察し致します。くれぐれもご自愛ください。 ・教科の中でも、次年度への課題で ICT 機器の活用について示されているが、教師側が ICT 機器をどれだけ使いこなせるようになるかも重要であると思いました。

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。